

番号	議題	質問・意見	当日の回答・対応等
1	議題 4	東濃厚生病院と土岐市立総合病院が合併し、病床規模400床の東濃中部医療センターができるが、医師や看護師は集まるのか前から懸念している。どのように考えているのか。	医療従事者について、募集をかけたり大学にお願いしたりして令和8年2月にスタートできるように頑張っている。（東濃中部病院事務組合）
2		看護師について、400床の病院に必要な看護師の数が逆算できると思うが、必要数に対する現状の確保状態はどうか。	医師については両病院で60～70名ほどいるが、新病院では90名ほどを予定しているため、現在も確保に動いている。 看護師は300名ほど必要であり、こちらも確保に動いている。（東濃中部病院事務組合）
3		医師の確保について、医局員が減ってきているため、大学からもらうこともかなり厳しい状態であると聞いている。最初からフル稼働するのではなく、徐々にスタートしていけばいいのではないか。	
4		現状の東濃厚生病院と土岐市立総合病院でも空床がある中で、トータルで400床は多いのではないか。看護師が必要数集まるのか、非常に心配である。	
5		この地域だけでなく、全国的に看護師不足が問題になっているため、新しい病院の建設により、周囲の病院へ新しく入る看護師の数が減るのではないかと危惧している。	
6		新しい病院がきることにより、周囲の各医療機関への影響は計り知れないものが発生するのではないか。今後も地域医療の共存共栄していくために、配慮していただきたい。	
7	報告 事項 2	DPCデータ分析を県全体と二次医療圏で行っているが、患者の移動は簡単に二次医療圏を超えるため、愛知医療圏に岐阜県の人が多量に来ているかなど、二次医療圏を超えた分析も必要ではないか。	どのような患者が名古屋へ流れているかといったデータをまた改めてお出ししたいと考えている。（アドバイザー）
8	報告 事項 3	急性期特化の医療機関の機能転換の検討余地があるということについて、回復期や慢性期を行う病院の需要を逼迫することになるが、それに対する考慮はあるか。	他の病院への影響は今回の分析には入れていない。（県委託事業者）
9	その他	東濃圏域は看護師の求職者が非常に少なく、就業につながっていないという現状である。看護師の確保とともに、質の高い看護師の育成に今後も努めていきたい。	
10	その他	10年前に多治見市民病院を開院したときも医師不足等で非常に困っていたが、いまでは研修医もたくさん集まるような立派な病院となった。東濃中部医療センターについても、やってみないとわからない点もあるため、医師や看護師の数だけでなく、院長を先頭にしっかりとやっていただきたいと思っている。	
11	アド バイ ザー	国の地域医療構想としても、今後医療機関の役割分担が非常に重要な局面に来ている。他県でも、2つの病院が合併し役割を考えながら連携していくことが当たり前になっている。適正なベッド数も非常に難しい問題であるが、大学としても医学生の育成をサポートして参りたい。ぜひ出身の若手医師が戻って勤務できるような病院体制づくりをお願いしたい。	